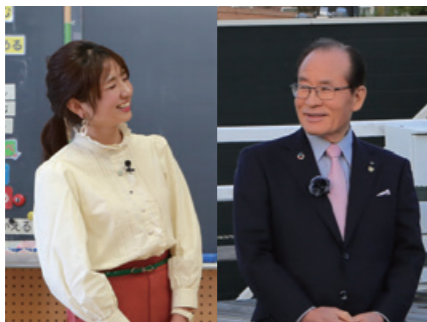


市民の方から寄せられた市政へのご意見や感想などを紹介します。

質問 市長が出演するテレビ番組や市職員が出演するラジオ番組は、いつ放送されていますか。

回答



市長が自らの市の施策などをお知らせする市政広報テレビ番組「させば市政だより特別版 キラっ都させば」のごとの放送は7月からです。すてきなプレゼンとも用意していますので、どうぞご覧ください。

【放送スケジュール】

第1・3土曜⇒NBC(9時25分)、KTN(11時45分)
第2・4土曜⇒NCC(16時25分)

第2・4日曜⇒NIB(6時30分)
毎週日曜⇒テレビ佐世保(18時55分)
※放送内容は過去に放送した分を含め、市ホームページや佐世保市公式YouTubeチャンネルでもご覧いただけます。



YouTube
(佐世保市チャンネル)

また、FMさせばのパーソナリティと担当の市職員が対話形式で分かりやすく市政情報をお知らせする「キラっ都させば ラジオ版」は、次のスケジュールで放送していますので、どうぞお聞きください。

【放送日】

毎週金曜 13時～13時55分
毎週土・日曜 10時～10時55分(再放送)
毎週月曜 22時～22時55分(再放送)

☎秘書課 ☎24-1111

広報アンケート

「広報させば7月号」満足度アンケート
次の①～④のうち、当てはまる番号をお答えください。

①大変良い ②良い ③不満 ④大変不満

応募方法

「はがき」か「Eメール」または「応募フォーム」に、
①「広報させば」満足度アンケートの該当番号②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥広報紙(特集)へのご意見⑦広報紙(特集以外)や市政に関するご意見を書いて、7月21日(木)までに(消印有効)広報係へ。
※応募は1人1通、応募者の中から抽選で決定します。発表は発送(8月中旬)をもって代えさせていただきます。

5月号のアンケート 230通

7月号プレゼント

開設72周年記念
佐世保競輪
九十九島賞争奪戦
QUOカード
(2,000円分)



10名様

佐世保競輪の開設72周年を記念して、7月23日①～26日②に開催される「佐世保競輪 九十九島賞争奪戦」の記念QUOカードをプレゼントします。イベントの内容など、詳しくはさせば競輪ホームページをご覧ください。

☎佐世保競輪事務所 ☎31-4797



左記の画像を読み込むと
応募画面が表示されます。

「佐世保まちの学食」企業フィランソロピー賞受賞！



5月26日(木)、第19回(2021年度)企業フィランソロピー賞を受賞された西海みずき信用組合(理事長 陣内純英氏)がその報告で来庁されました。

「『企業フィランソロピー』ってな～に？」という人も多いと思いますので少し説明します。フィランソロピーとは、ギリシャ語の「フィリア(愛)」と「アントロポス(人類)」から生まれた言葉で「人類への愛」に基づいた行為や活動という意味があるようです。近年、日本では社会貢献活動を意味する言葉として企業を中心に広がっており、多くの企業が寄付や地球環境保護活動、子育て支援、ボランティア活動などに取り組みられています(企業による芸術や文化への支援活動「メセナ」とは少し違いがあるようです)。

このたび、同組合による企業フィランソロピー賞「おなか一杯幸せ賞」の受賞は、大賞を受賞したサラヤ(株)に次いで、住友商事(株)や日本新薬(株)、メットライフ生命保険(株)などの大企業と共に受賞されるという快挙でした。

この受賞の対象活動「佐世保まちの学食」への賞の贈呈理由は「コロナ禍によりアルバイトが激減し、困窮する地元学生(大学生・専門学校生・高専生)に、無償でおなか一杯ご飯を食べてもらうために始めた取り組み。同組合は本課題解決のため若手クリエイターを採用し、飲食店支援アプリ「ごちめし」を活用して学生に食事を提供する仕組みを考案。地元有志や企業に寄付を呼びかけ、市内の協力飲食店

で1食700円分の食事券として利用できるデジタルチケットを配布。学生の食事約3,500食分の支援につなげた。コロナ禍でのスピーディーな対応と、アプリを通して食事券を直接配布することで低コスト運用にしたことが成功の要因。客足の遠のいた商店街の下支えにもなった。また、この支援は、支援される学生による恩返しボランティアに拡がりを見せ、学生が農作業支援や子ども食堂支援に関わるなど、広く地域社会の課題解決につながっている」と評価されています。

この活動は、同組合の西信好真氏が中心になり、20数社の企業からの寄付を仰ぎ、食事を提供する飲食店の協力を得るとともに、学生サイドにも佐世保まちの学食学生運営会(長崎県立大学3年 西野会長)が作られるなど、それぞれが連携して取り組みを進めてこられました。また、現在では「まちの学食」応援団が佐世保ロータリークラブや日本政策金融公庫佐世保支店の有志など、多くの皆さんで結成されています。さらに、この事業を発展させるための運営団体として「させば新型コロナ対策支援協議会」が設立され、その運営に当たっておられます。

新型コロナウイルス感染症が収束するまでには、今しばらく時間がかかりそうです。市民の皆さまにおかれましては、困窮する学生さんを元気付け、前を向いて歩けるよう応援していただければ大変うれしく思います。

佐世保市長 朝長 則男

徳育通信 123

聞いて「徳」する話 84 相手を思いやる気持ちの大切さ

佐世保では、海外の人を見掛ける機会が多いように思います。

先日、アーケードでご家族連れの海外の人がスマートフォンを見ながら何かを探しているようでした。私はその様子に気付きましたが、英語に自信がないため、声を掛けることができずに通り過ぎてしまいました。

その後、私の後ろを歩いていた数人の女子高校生がその家族の所に近づき、声を掛け案内を始めました。英語を話している様子ではありませんでしたが、スマートフォンを片手に身振り手振りを交えながら、笑顔で意思疎通を行おうとする姿に感心し、英語に自信がなければ声を掛けることができなかった自分のことを少し恥じました。

最近、世界の残念なニュースを見聞きする状況が続いており、自分を含め多くの人々が異なる文化を理解し、お互いに歩み寄る気持ちが必要になっていると感じます。そのような中で、語学的重要性もさることながら、相手を思いやる気持ちの大切さを改めて考えさせられた出来事でした。

(70代・男性)

「聞いて徳する話」募集中

身の回りで見つけた“聞いて「徳」する話”を募集中です。応募用紙は事務局で配布しており、市ホームページからもダウンロードできます。

☎佐世保徳育推進会議 ☎23-2856

はがき 〒857-8585(住所不要) 佐世保市役所秘書課広報係宛て
Eメール hishok@city.sasebo.lg.jp(携帯電話からも可)